



2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年10月10日

上場会社名 カネ美食品株式会社 上場取引所 東
コード番号 2669 URL <https://www.kanemi-foods.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺山 雅也
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 大谷 浩一郎 TEL 052-879-6111
四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 2023年10月31日
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年2月期第2四半期の業績（2023年3月1日～2023年8月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	42,919	7.0	1,843	45.1	1,875	43.2	1,216	40.9
2023年2月期第2四半期	40,083	3.3	1,270	38.7	1,308	37.8	863	13.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	125.79	—
2023年2月期第2四半期	89.28	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期第2四半期	35,889	26,976	75.2	2,788.21
2023年2月期	33,406	25,912	77.6	2,678.74

（参考）自己資本 2024年2月期第2四半期 26,976百万円 2023年2月期 25,912百万円

（注）株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託（BBT）」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式（2024年2月期第2四半期 4,040株、2023年2月期第2四半期 5,722株）に、1株当たり純資産金額の算定上、期末発行済株式数から控除する自己株式（2024年2月期第2四半期 2,799株、2023年2月期 4,803株）にそれぞれ含めております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	14.00	—	22.00	36.00
2024年2月期	—	19.00	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年2月期の業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,600	4.3	2,750	2.3	2,800	2.0	1,800	4.6	186.08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期2Q	10,000,000株	2023年2月期	10,000,000株
② 期末自己株式数	2024年2月期2Q	324,939株	2023年2月期	326,765株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期2Q	9,673,926株	2023年2月期2Q	9,672,324株

(注) 株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託（BBT）」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式（2023年2月期2Q 5,722株、2024年2月期2Q 4,040株）に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、経営環境の変化など様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. 主要な経営指標等の推移	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、行動制限が緩和され、インバウンド需要も回復基調となり、経済活動の正常化が徐々に進みました。一方で、緊迫した世界情勢に加え、物価上昇や金融資本市場の変動リスク等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、個人消費の持ち直しは見られるものの、原材料価格や労働コストの上昇に加え、エネルギー価格の高騰等により、引き続き厳しい環境となりました。

このような中、当社は新業態の展開や新商品の開発等、新たなチャレンジに取り組み、事業拡大の推進及び経営基盤の強化に努めてまいりました。

報告セグメントの経営成績は、以下のとおりであります。

① テナント事業

テナント事業におきましては、総合惣菜店舗「Re' z deli (リーズデリ)」を4店舗、洋風惣菜店舗「eashion (イーション)」を4店舗出店したほか、8月には東京都渋谷区に開業した複合施設「道玄坂通 dogenzaka-dori」に、体感型eashionをコンセプトにした「eashion fun」、いなり・おにぎり専門店「こしらへ」を新規出店し、店舗規模の拡大とともに積極的なチャレンジを行ってまいりました。

また既存店では、買場の中心となるコア商品のブラッシュアップ及び販売強化に注力し事業全体の底上げを図ってまいりました。

これらの結果、テナント事業全体の売上高は前年同期間に比べ2.6%増収の215億89百万円となり、利益面では売上高の増加に加え、製造計画の精度アップや効率的な運営手法の実践が定価販売率向上やロス削減につながり、セグメント利益は前年同期間に比べ7.7%増益の10億57百万円となりました。

② 外販事業

外販事業におきましては、引続き人流回復が事業全体を押し上げる要因となっている状況の下、ファミリーマート店舗ではおむすびや調理パン、チルド惣菜シリーズ「ちょいデリ」の納品が好調に推移しました。

また、ユニー店舗やドン・キホーテ店舗等スーパーマーケット等及び鉄道系コンビニエンスストアにおける納品アイテム数の拡充を図り、納品数量の増加に注力してまいりました。

これらの結果、外販事業の売上高は前年同期間に比べ11.9%増収の213億30百万円となり、利益面では売上高の増加に加え、生産効率向上及びロス削減等の継続的な改善活動が着実に成果となり、セグメント利益は前年同期間に比べ172.3%増益の7億85百万円となりました。

以上の要因により、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高は前年同期間と比べ7.0%増収の429億19百万円となりました。利益面については、経常利益は前年同期間と比べ43.2%増益の18億75百万円、四半期純利益は前年同期間と比べ40.9%増益の12億16百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ24億83百万円増加して358億89百万円となりました。

この主な要因は、現金及び預金が6億13百万円、売掛金が14億91百万円それぞれ増加したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ14億19百万円増加して89億13百万円となりました。

この主な要因は、買掛金が8億81百万円、未払金が3億43百万円それぞれ増加したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ10億63百万円増加して269億76百万円となりました。

この主な要因は、利益剰余金が10億3百万円増加したことなどによります。

これらにより当第2四半期会計期間末の自己資本比率は、前事業年度末の77.6から75.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前年同期間に比べ16億72百万円増加し、175億70百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は前年同期間に比べ4億33百万円増加し、14億64百万円となりました。

この主な要因は、税引前四半期純利益が5億46百万円増加したことなどによります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により支出した資金は、前年同期間に比べ4億87百万円増加し、6億35百万円となりました。

この主な要因は、有形固定資産の取得による支出が2億80百万円増加したこと、投資有価証券の売却による収入が61百万円なくなったこと、有形固定資産の売却による収入1億5百万円がなくなったことによる資金の減少要因があったことなどによります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により支出した資金は、前年同期間に比べ1億26百万円増加し、2億15百万円となりました。

この主な要因は、配当金の支払額が1億25百万円増加したことなどによります。

(3) 業績予想など将来予測情報に関する説明

2023年4月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,956,868	17,570,424
売掛金	5,221,998	6,713,507
製品	8,943	10,045
仕掛品	19,975	19,947
原材料及び貯蔵品	429,826	460,688
前払費用	70,815	163,192
未収入金	58,032	28,301
テナント預け金	108,269	145,621
その他	13,246	18,399
流動資産合計	22,887,977	25,130,129
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,824,071	3,841,213
構築物（純額）	229,589	216,446
機械及び装置（純額）	1,528,836	1,540,316
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	304,396	390,551
土地	2,887,081	2,887,081
リース資産（純額）	138,954	122,398
建設仮勘定	6,500	111,762
有形固定資産合計	8,919,430	9,109,769
無形固定資産		
ソフトウェア	137,980	109,796
ソフトウェア仮勘定	—	1,327
無形固定資産合計	137,980	111,123
投資その他の資産		
投資有価証券	432,773	496,358
出資金	2,030	2,030
長期前払費用	173,866	147,867
前払年金費用	317,039	385,514
繰延税金資産	205,838	169,004
差入保証金	325,063	333,432
会員権	4,050	4,050
投資その他の資産合計	1,460,662	1,538,256
固定資産合計	10,518,072	10,759,149
資産合計	33,406,050	35,889,278

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,998,387	3,880,012
未払金	1,233,866	1,577,312
未払費用	1,277,713	1,454,039
未払法人税等	621,400	682,900
未払消費税等	279,232	280,088
賞与引当金	640,100	611,100
役員賞与引当金	23,900	10,700
役員株式給付引当金	5,800	3,200
資産除去債務	28,160	—
その他	56,358	65,816
流動負債合計	7,164,918	8,565,170
固定負債		
リース債務	12,430	10,938
長期未払金	1,557	1,093
資産除去債務	309,904	330,880
長期預り保証金	5,028	5,028
その他	123	105
固定負債合計	329,042	348,046
負債合計	7,493,961	8,913,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002,262	2,002,262
資本剰余金		
資本準備金	2,174,336	2,174,336
その他資本剰余金	3,731	3,731
資本剰余金合計	2,178,068	2,178,068
利益剰余金		
利益準備金	81,045	81,045
その他利益剰余金		
別途積立金	10,300,000	10,300,000
繰越利益剰余金	12,147,689	13,151,656
利益剰余金合計	22,528,735	23,532,701
自己株式	△1,007,765	△1,001,336
株主資本合計	25,701,300	26,711,695
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	210,788	264,366
評価・換算差額等合計	210,788	264,366
純資産合計	25,912,088	26,976,061
負債純資産合計	33,406,050	35,889,278

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上高	40,083,922	42,919,961
売上原価	33,496,485	35,288,820
売上総利益	6,587,437	7,631,141
販売費及び一般管理費	5,317,228	5,787,340
営業利益	1,270,209	1,843,801
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	12,551	7,366
不動産賃貸料	3,722	2,763
受取保険金	2,460	4,784
助成金収入	15,060	—
雑収入	—	10,000
その他	7,892	7,281
営業外収益合計	41,700	32,210
営業外費用		
不動産賃貸原価	375	382
雑損失	2,276	—
その他	519	256
営業外費用合計	3,172	639
経常利益	1,308,737	1,875,372
特別利益		
投資有価証券売却益	19,519	—
特別利益合計	19,519	—
特別損失		
固定資産売却損	29,333	—
固定資産除却損	3,796	59,288
減損損失	30,824	5,686
特別損失合計	63,953	64,975
税引前四半期純利益	1,264,302	1,810,396
法人税、住民税及び事業税	374,462	566,685
法人税等調整額	26,313	26,828
法人税等合計	400,775	593,513
四半期純利益	863,526	1,216,883

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,264,302	1,810,396
減価償却費	485,450	491,744
減損損失	30,824	5,686
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△35,000	△29,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,950	△13,200
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,092	△2,600
長期未払金の増減額 (△は減少)	△149	△463
受取利息及び受取配当金	△12,565	△7,380
固定資産売却損益 (△は益)	29,333	—
固定資産除却損	2,909	29
投資有価証券売却損益 (△は益)	△19,519	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,108,424	△1,529,629
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,853	△31,935
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△50,980	△68,474
未収入金の増減額 (△は増加)	424	29,731
仕入債務の増減額 (△は減少)	708,487	881,625
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△76,560	△96,761
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	12,793	21,472
未払費用の増減額 (△は減少)	107,081	176,326
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△525	855
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	152,397	321,227
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△1,933	△18
その他	6,222	8,125
小計	1,490,378	1,967,757
利息及び配当金の受取額	12,565	7,380
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△471,736	△510,624
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,031,207	1,464,513
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△314,590	△594,945
有形固定資産の売却による収入	105,160	—
資産除去債務の履行による支出	—	△28,160
投資有価証券の売却による収入	61,654	—
その他	—	△12,583
投資活動によるキャッシュ・フロー	△147,775	△635,688
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△1,491	△1,491
自己株式の取得による支出	△27	△525
配当金の支払額	△87,298	△213,252
財務活動によるキャッシュ・フロー	△88,817	△215,268
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	794,614	613,555
現金及び現金同等物の期首残高	15,103,227	16,956,868
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,897,841	17,570,424

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自2022年3月1日至2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額(注) 2
	テナント事業	外販事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	21,027,191	19,056,731	40,083,922	—	40,083,922
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	21,027,191	19,056,731	40,083,922	—	40,083,922
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	242,248	242,248	△242,248	—
計	21,027,191	19,298,979	40,326,171	△242,248	40,083,922
セグメント利益	981,870	288,476	1,270,347	△137	1,270,209

(注) 1. セグメント利益の調整額△137千円はセグメント間の内部取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「テナント事業」において店舗資産等、「外販事業」において工場資産をそれぞれ減損処理しております。なお、当第2四半期累計期間における当該減損損失の計上額は、「テナント事業」で24,123千円、「外販事業」で6,700千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自2023年3月1日至2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額(注) 2
	テナント事業	外販事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	21,589,557	21,330,404	42,919,961	—	42,919,961
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	21,589,557	21,330,404	42,919,961	—	42,919,961
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,818,555	1,818,555	△1,818,555	—
計	21,589,557	23,148,959	44,738,517	△1,818,555	42,919,961
セグメント利益	1,057,989	785,775	1,843,765	35	1,843,801

(注) 1. セグメント利益の調整額35千円はセグメント間の内部取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 前事業年度において「テナント事業」に含めていた袋井ファクトリーを第1四半期会計期間から「外販事業」に移管しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 主要な経営指標等の推移

回次	第53期 第2四半期 累計期間	第54期 第2四半期 累計期間	第53期
会計期間	自2022年3月1日 至2022年8月31日	自2023年3月1日 至2023年8月31日	自2022年3月1日 至2023年2月28日
売上高 (千円)	40,083,922	42,919,961	81,059,326
経常利益 (千円)	1,308,737	1,875,372	2,742,889
四半期(当期)純利益 (千円)	863,526	1,216,883	1,720,389
資本金 (千円)	2,002,262	2,002,262	2,002,262
発行済株式総数 (株)	10,000,000	10,000,000	10,000,000
純資産額 (千円)	25,195,926	26,976,061	25,912,088
総資産額 (千円)	33,347,000	35,889,278	33,406,050
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	89.28	125.79	177.86
1株当たり配当額 (円)	14.00	19.00	36.00
自己資本比率 (%)	75.6	75.2	77.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,031,207	1,464,513	2,583,814
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△147,775	△635,688	△504,479
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	△88,817	△215,268	△225,693
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高 (千円)	15,897,841	17,570,424	16,956,868

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託(BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期(当期)純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりません。